

量子化学探索研究所（IQCE）は、人類がかかえる様々な問題の解決に向けて量子化学に基づく探索研究を普及・発展させることを目的に2013年に発足し、シンポジウム開催や研究助成をはじめとして様々な事業に取り組んでおります。

その活動の一環として、量子化学探索に関わる先端研究を展開しておられる方を講師にお迎えし、下記の内容で講演会を開催いたします。多数の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

日時：2019年11月8日（金）13:00～17:00

場所：東京大学（本郷キャンパス）山上会館2階大会議室

アクセス : 公共交通機関の駅から山上会館までの所要時間

本郷三丁目駅（地下鉄丸の内線）より徒歩10分

本郷三丁目駅（地下鉄大江戸線）より徒歩8分

湯島駅（地下鉄千代田線）より徒歩15分

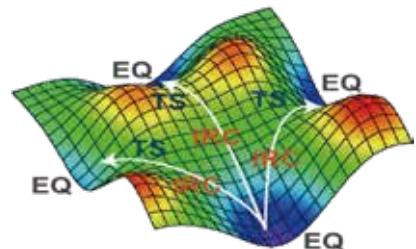
根津駅（地下鉄千代田線）より徒歩10分

東大前駅（地下鉄南北線）より徒歩10分

春日駅（地下鉄三田線）より徒歩15分

主催 : 特定非営利活動法人量子化学探索研究所

協賛 : 日本表面真空学会、有機合成化学協会、触媒学会、分子科学会、日本化学会



IQCE 量子化学探索講演会

「量子化学で探る化学の最先端」2019

講演会参加費：無料（懇親会は有料）13:00～17:00

プログラム

司会：武次徹也
13:00 大野公一（開会挨拶）

座長：武次徹也

13:10-13:35 前田理（北海道大学） 「GRRM プログラムの新展開 2019」
13:35-14:00 高石慎也（東北大学） 「水素分子錯体を利用した軽水素—重水素分離」
14:00-14:25 佐々木岳彦（東京大学） 「固定化イオン液体触媒の設計と反応機構解明」
14:25-14:40 横内優来（ダウ・東レ（株））「GRRM プログラムを用いた多環式ケイ素化合物の多段階骨格変換反応の機構推定」

休憩

座長：大野公一

15:00-15:30 岩田末廣（特別講演）
① 電子相関項に対する Counterpoise 法：結合エネルギーの過小評価
② 水 - 水間水素結合の強さに対する第 2, 第 3 隣接分子の影響

座長：山門英雄

15:30-15:55 中村正人（日本大学） 「クラスターおよび PAH 分子と荷電粒子との衝突過程」
15:55-16:20 山崎馨（東北大学） 「生体関連分子の多段階無輻射失活過程」
16:20-16:45 高橋啓介（北海道大学） 「キャタリストインフォマティクスのコンセプトと実例：メタン酸化カップリング反応」

懇親会 17:00-18:30：（有料）

司会：佐々木岳彦

参加申込

配布資料等の準備の都合がありますので、次の要領でお申ください。

参加申込締切

2019年11月1日（金）

申込方法

<https://sites.google.com/edu.k.u-tokyo.ac.jp/iqce2019>

・会場収容人数の関係で、予定人数に達した場合はお断りすることがあります。なるべくお早目にお申込みください。

・当日、会場に余裕がある場合は、予約なしで入場をお認めいたしますが、配布資料などの配布物の予備には限度がありますので、なるべく事前に参加お申込みください。

懇親会費：（事前 一般 4,000 円 学生 3,000 円、当日 一般 5,000 円 学生 4,000 円）

懇親会事前申込締切： 2019年11月1日（金）

懇親会参加費振込期限： 2019年11月5日（火）

（振込確認・領取書発行のため、期限までにお振込みください）

三菱UFJ銀行 田町支店（店番043） 普通0532024

口座名：トクヒ リョウシカグタンサクケンキュウジョ（「トクヒ」は、「特定非営利活動法人」の略号です。）

振込者氏名を明記して期限までにお振込ください。

領収書は、当日お渡しいたします。振込票は、大切に保管ください。

領収書の宛名として「参加申込者以外」の必要のある場合は、申込時にその旨ご連絡ください。

実行委員（世話人）：武次徹也（北海道大学）、佐々木岳彦（東京大学）、山門英雄（和歌山大学）